

2022年7月27日

Press Release

弘前れんが倉庫美術館 2022年度展覧会 [秋冬プログラム]

「もしもし、奈良さんの展覧会はできませんか？」

奈良美智展弘前 2002-2006 ドキュメント展

会期：2022年9月17日（土）－2023年3月21日（火・祝）

*会期終了は当初2023年1月29日（日）を予定していましたが変更となりました

会場：弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）



「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」展示風景（2006年）©Yoshitomo Nara
撮影：永野雅子

（…）みんなががんばってオープンした直後は花が咲いてお花見をする感じ。そして、花は必ず散るようにな、会期があるから展覧会も終わる。でも、終わった後には、種とかいろんなものをみんなが落とすんじゃないかな。（…）花が咲く背景には、土に還って養分となつたたくさんの葉っぱがある。

—奈良美智の言葉より

（『A to Z 奈良美智+グラフ』フォイル、2006年）

弘前れんが倉庫美術館は、2022年9月17日（土）から2023年3月21日（火・祝）まで、【「もしもし、奈良さんの展覧会はできませんか？」奈良美智展弘前 2002-2006 ドキュメント展】を開催します。本展では、美術館になる前の煉瓦倉庫で開催された、弘前市出身の現代美術家・奈良美智（1959-）による三度の展覧会の軌跡を、さまざまな資料、写真や映像で振り返ります。

1988年に渡独した奈良は、海外での活動も積極的に行う中で2000年に帰国します。翌年から国内初の本格的な個展「I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.」が全国を巡回し、2002年には煉瓦倉庫を会場として開催されました。これを契機として、続く二つの展覧会「From the Depth of My Drawer」（2005年）「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」（2006年）が煉瓦倉庫で開かれました。

タイトル「もしもし、奈良さんの展覧会はできませんか？」は、当時の煉瓦倉庫のオーナー・吉井千代子（吉井酒造株式会社社長）が、奈良の作品に強く惹かれ、自分の倉庫で展示をしたいとギャラリーに問い合わせたというエピソードにちなんでいます。この一本の電話が、吉井と奈良の出会いにつながり、煉瓦倉庫での奈良美智展が実現しました。

弘前での最初の奈良美智展から20年を迎える本年、煉瓦倉庫と地域との関係性において重要な意味を持つ、この三度の展覧会にあらためて光をあてます。当時の印刷物やグッズ、記録映像の資料、展覧会準備の様子や展示風景を撮影した写真家の永野雅子と細川葉子による写真で構成します。また、過去に出展された奈良美智の作品も一部展示します。弘前での「奈良美智展」というひとつのこと例から、地域のアートプロジェクトや美術館、そしてそこに関わる人々について考えをめぐらせるための場の創出を目指します。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川（公）

TEL : 0172-32-8950 FAX : 0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

展覧会のみどころ

1. 印刷物やグッズ、映像などさまざまな資料を中心に、

三度の展覧会を多角的に振り返る

当時の関係者へのインタビュー映像のほか、市民の協力により集まった印刷物やグッズなどの資料を展示します。三度の展覧会準備から完成までの軌跡を紹介するとともに、煉瓦倉庫の持ち主であった吉井千代子と奈良の出会いや、展覧会運営を担ったボランティアの存在を起点とした持続的なコミュニティ形成のあり方など、異なる切り口から三度の展覧会をとりまく要素を考察します。

2. 展覧会がうまれるエネルギーを伝える写真展示

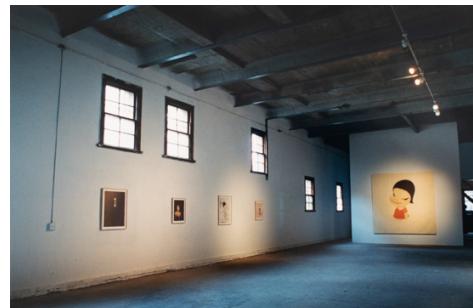
「奈良美智展弘前」準備中の会場風景、展覧会づくりに参加した人々や当時の街の様子を撮影した、永野雅子と細川葉子による写真を紹介します。共通する対象をそれぞれの視点で捉えた写真群は、当時の建物や展示の詳細な記録を伝えるドキュメント資料としての役割を持つだけでなく、展覧会の完成というひとつの目標の下に集結した人々の熱気や、当時の煉瓦倉庫がまとっていた場のエネルギーを伝えます。本展の会場構成には、過去の弘前での展示のグラフィックを手がけたデザイナーの山本誠が参加します。

3. 当時の展覧会で出展された奈良美智の作品を一部展示

三度の展覧会の資料とともに、過去の弘前での展示に出展された奈良美智作品の一部を展示します。煉瓦倉庫の記憶を継承しつつ美術館へと生まれ変わった展示空間で、絵画、ドローイング、立体作品などを紹介します。また、奈良が故郷の弘前で暮らしていた時代に親しんだ書籍やレコードもあわせて展示します。

4. 展覧会と並走する参加型プロジェクトの展開

「弘前エクスチェンジ#05」では、「奈良美智展」の記憶をたどり、演劇を作ることであらたな考察を試みる「もしもし演劇部」や、三度の展覧会をきっかけに街や人にもたらされた変化を探る「小さな起こりリサーチプロジェクト」など市民参加型のプログラムや関連する展示を行います。三度の「奈良美智展」が地域に蒔いた創造性に光をあてつつ、それを大きな契機として美術館へと生まれかわった煉瓦倉庫のこれからの姿を考えます。



「I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.」展示風景（2002年）
撮影：永野雅子



「From the Depth of My Drawer」準備中の様子（2005年）
撮影：永野雅子



「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」準備中の様子（2006年）
撮影：細川葉子



「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」会場外観（2006年）
撮影：細川葉子

永野雅子 NAGANO Masako

1971年、埼玉県生まれ。同地在住。青山学院女子短期大学卒業。
雑誌、広告、web、書籍等でポートレートを中心に撮影している。
2004年「This is a time of... S.M.L. yoshitomo nara+graf」を青幻
舎より出版。



Photo: asaco suzuki

細川葉子 HOSOKAWA Hako

1974年、福井県生まれ。東京都在住。1999年、日本大学芸術学部
写真学科卒業。2004年より写真家として活動をはじめる。雑誌、
広告のポートレートや静物、映画のスチール、展覧会のカタログ
など多岐に渡って撮影を手がける。



Photo: Hiroyo Katsube

奈良美智 NARA Yoshitomo

1959年、青森県弘前市生まれ。栃木県在住。1987年、愛知県立芸
術大学大学院修士課程修了。1988年渡独、国立デュッセルドルフ
芸術アカデミー入学。修了後、ケルン在住を経て、2000年帰国。
1990年代後半以降からヨーロッパ、アメリカ、日本、そしてアジア
の各地のさまざまな場所で発表を続ける。見つめ返すような瞳
の人物像が印象的な絵画、日々生み出されるドローイング作品の
ほか、木、FRP、陶、ブロンズなどの素材を使用した立体作品や
小屋のインсталレーションでも知られる。



Photo:RYOICHI KAWAJIRI
Artwork: ©Yoshitomo Nara

弘前エクスチェンジ #05 「ナラヒロ」

弘前ゆかりのアーティスト、クリエイター、研究者らに注目し、異なる視点が交差・交換される場を生み出すことで、新たなアプローチで地域性の考察、創造的魅力の再発見に繋がることを目指すプログラム「弘前エクスチェンジ」。本展と関連する弘前エクスチェンジ#05では、三度の「奈良美智展」を知る関係者やボランティアスタッフへのインタビューをはじめ、参加型の様々な企画を通して、地域の人々がもつ当時の記憶や思い出をリサーチ／記録する試みを開催します。

※「ナラヒロ」とは、当時のボランティアの間で呼ばれていた「奈良美智展 弘前」の略称



演劇プロジェクト「もしもし演劇部」

三度の「奈良美智展」をリサーチし、それをもとに短い演劇を創作し、上演します。本プロジェクトに参加するのは「奈良美智展」を体験していない若い世代です。本展会期中のワークショップを経て、オムニバス形式の演劇作品を作り、2022年12月18日（日）にドラマリーディング（朗読劇）形式で発表します。

○ワークショップ講師

鎌田龍（劇団「ひろさき演人」主宰）

太田歩（ドラマナビコーディネーター、弘前市岩木地区地域おこし協力隊）

○参加募集

「もしもし演劇部」の参加者を募集しています。

募集期間 | 2022年7月9日（土）- 8月31日（水）

対象 | 弘前市内に在住・在勤・在学の15歳から23歳までの方

詳細 | <https://www.hirosaki-moca.jp/exchange/05-narahiro/moshien/>

小さな起こりリサーチプロジェクト

三度の「奈良美智展」が街や個人に与えた影響や変化、展覧会と街との関わりから生まれた創造性についてリサーチするプロジェクトが進行しています。本展会期中、展示室内やウェブ上でその成果を発表します。

「ナラヒロ」写真展示

本展にあわせて、三度の「奈良美智展」にまつわる写真および、奈良が市民ボランティアのために制作した作品《A to Z Memorial Dog》の写真を一般募集しました。その一部の写真を館内で掲示します。



奈良美智《A to Z Memorial Dog》2007年
©Yoshitomo Nara
Photo: Naoya Hatakeyama

奈良美智《A to Z Memorial Dog》について

「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」に関わってくれた市民への感謝の気持ちとして制作されました。2007年に弘前市に寄贈されたのち、煉瓦倉庫前の土淵川吉野町緑地に設置され、街のシンボルとして親しまれてきました。煉瓦倉庫が美術館として生まれ変わる際に、美術館のエントランスに展示され、来館者を出迎えています。

関連プログラム

オープニングトーク

出演（予定） | 永野雅子（写真家）、細川葉子（写真家）、山本誠（デザイナー）

日時 | 2022年9月17日（土）14:00 – 15:30

会場 | スタジオB

料金 | 参加無料

申込み | <http://20220917talk.peatix.com> または 電話 0172-32-8950

2022年8月20日（土）9:00より予約受付開始

定員 | 30名（事前予約優先）

学芸スタッフによるギャラリーツアー

日程 | 本展会期中 下記の日曜日

2022年9月25日、10月9日・30日、11月13日・27日、12月11日・25日

2023年1月8日・22日、2月5日・19日、3月5日・19日

時間 | 11:00 – 30分程度

料金 | 参加無料（要当日観覧券）

定員 | 10名

申込み | 不要（当日先着順）

集合場所 | 1階受付前

本展会場でのライブイベント

奈良美智がアルバムジャケットのアートワークを描き下ろしたG.Yokoと、弘前を拠点に活動するジョナゴールドのライブを展示室内で開催します。

（1）G.Yoko ライブ

2021年にデビューアルバム『Survive』をリリースした沖縄県石垣島在住のシンガー G.Yokoのライブを開催します。

日程 | 2022年10月1日（土）

（2）ジョナゴールド ライブ

2022年3月に農業活性化アイドル「RINGOMUSUME（りんご娘）」を卒業し、現在はシンガーとして弘前を拠点に活動するジョナゴールドのライブを開催します。

日程 | 2022年12月3日（土）

クロージングイベント

奈良美智によるDJイベントを展示室内で開催します。

日程 | 2023年3月（予定）

このほかにもイベントの開催を予定しています。

各イベントの詳細、申込み方法は決定次第、当館ウェブサイトで発表します。

開催概要

- | 展覧会名： 「もしもし、奈良さんの展覧会はできませんか？」
奈良美智展弘前 2002-2006 ドキュメント展
- | 会期： 2022年9月17日（土）－2023年3月21日（火・祝）
- | 開館時間： 9:00－17:00（入館は閉館の30分前まで）
- | 休館日： 火曜日
※ただし、3月21日（火・祝）は開館
※12月26日（月）－1月1日（日）は休館
- | 観覧料〔税込〕： 一般 1300円（1200円） 大学生・専門学校生 1000円（900円）
※（）内は20名様以上の団体料金
※以下の方は無料
高校生以下の方/弘前市内の留学生の方/満65歳以上の弘前市民の方
ひろさき多子家族応援パスポートをご持参の方/障がいのある方と付添の方1名
- | 主催： 弘前れんが倉庫美術館
- | 特別協賛： スターツコーポレーション株式会社
- | 協賛： 株式会社大林組
- | 協力 奈良美智、NPO法人 harappa
- | 後援 東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、青森放送、青森テレビ、
青森朝日放送、エフエム青森、FMアップルウェーブ、弘前市教育委員会
- | 会場： 弘前れんが倉庫美術館 ☎036-8188 青森県弘前市吉野町2-1
- | 一般問合せ： TEL: 0172-32-8950
- | アクセス： JR弘前駅より
- 弘南バス・土手町循環100円バス「蓬莱橋」下車 徒歩約5分
- 徒歩約20分
- タクシー約7分
- | ウェブサイト： <http://www.hirosaki-moca.jp>
- | SNS： Instagram : @hirosaki_moca
Twitter : @hirosaki_moca
Facebook : @hirosaki.moca

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川（公）

TEL: 0172-32-8950 FAX: 0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp ☎036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

E-MAIL: press@hirosaki-moca.jp または FAX: 0172-55-5982 宛

2022年7月27日

弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）

「もしもし、奈良さんの展覧会はできませんか？」

奈良美智展弘前 2002-2006 ドキュメント展

会期：2022年9月17日（土）～2023年3月21日（火・祝）

広報画像申請書

▼貴媒体についてお知らせください。

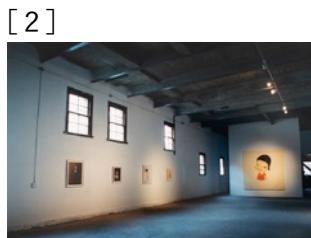
媒体名	貴社名	
ご担当者	所属部署	
ご住所 〒		
電話番号	FAX 番号	E-MAIL
掲載・放映の予定が決まっていたらお知らせください。 年 月 日		
読者プレゼントのご希望 <input type="checkbox"/> 希望する 組 名様 (2022年12月31日迄 掲載対象) <input type="checkbox"/> 希望しない		
*画像1点以上ご掲載の場合、本展の招待券10枚まで提供します。 / 美術館までの交通費は自己負担のご案内をお願いします。		

▼希望される画像の番号に「○」で印をつけてください

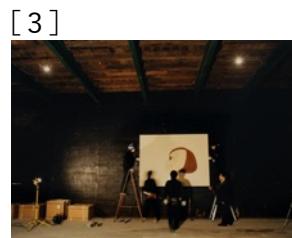
広報画像にはすべて以下キャプション・クレジットを併記してください。
画像提供は事前に原稿を確認させていただける場合に限ります。



「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」
展示風景（2006年）
©Yoshitomo Nara
撮影：永野雅子



「I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.」
展示風景（2002年）
撮影：永野雅子



「From the Depth of My Drawer」
準備中の様子（2005年）
撮影：永野雅子



「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」
準備中の様子（2006年）
撮影：細川葉子



「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」
会場外観（2006年）
撮影：細川葉子



奈良美智《A to Z Memorial Dog》2007年
©Yoshitomo Nara
Photo: Naoya Hatakeyama

<広報画像、取扱に関する規定>

- 広報画像の使用は展覧会をご紹介いただく場合のみとさせていただきます。
- 広報画像をご紹介いただく場合、指定のキャプションとクレジットを必ずご記載ください。
- 全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせは原則禁止となっております。
- 掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、可能な範囲でゲラ刷り・原稿の段階で広報までメールまたはFAXでお送りください。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川（公）

TEL : 0172-32-8950 FAX : 0172-55-5982 E-mail : press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1